



GAJ News

平成 28 年度通常総会を開催 地域交流会を開催へ

さる6月2日(木)10時30分から、日比谷図書文化会館コンベンションホールにおいて、平成28年度通常総会を開催しました。

開会に当たり、当連合の杵本共同代表が議長に選出され、定足数の確認が行われました。当日は、出席団体16団体、委任状提出団体26団体で、規約第13条6項により定足数を満たし、総会が成立したことが報告されました。

●平成27年度活動報告

続いて、古瀬事務局長から第1号議案の平成27年度事業報告書および第2号議案の平成27年度の決算内容についての説明がされ、橋高監事からの監査報告を受けた後、質疑応答後、全員異議なく可決されました。

平成27年度は昨年6月5日に設立して10カ月間でしたが、以下のような取り組みが行われたほか、幹事メンバーはほぼ月1回の頻度で幹事会など会合を開き、組織運営や活動について話し合いを重ねました。

【平成27年度の主な事業】

- ・市民版環境白書(グリーンウォッチ)発刊に向けた企画・編集
 - ・勉強会、交流会の開催(関西地区、関東地区各1回)
 - ・国会議員との意見交換会(1回)
 - ・関係省庁との意見交換会(3回)
- 平成27年度の決算は、以下のよう
な収支状況でした。

経常収益:549,033円

経常費用:196,624円

次期繰越:352,409円

●平成28年度事業計画

その後、古瀬事務局長から第3号議案の平成28年度事業計画および第4号議案の平成28年度予算案の説明がされ、質疑応答後、全員異議なく可決されました。

平成28年度の主な事業は以下のようなものを予定しています。

【平成28年度の主な事業】

- ・市民版環境白書(グリーンウォッチ)発刊
- ・国会議員、行政、マスコミ等との意見交換会開催
- ・勉強会、交流会の開催

平成28年度の予算内容は以下の通りです。

経常収益:3,200,000円

※内240万円は地球環境基金助成

経常費用:3,329,100円

当期収支:▲129,100円

前期繰越:352,409円

次期繰越:223,309円

今年は地球環境基金の助成を受け、5つの地域で交流会を開催する予定です。交流会を通じてグリーン連合の輪を大きく広げて行きたいと思います。(古瀬)

●発行記念シンポジウム

同日午後には、「グリーン・ウォッチ発行記念シンポジウム」を開催しました。市民版環境白書の発行はわが国では初めてのことです。広報が遅れたにもかかわらず、遠くは九州から参加された方もいました。

まず、編集責任者の藤村共同代表から、挨拶並びにグリーン・ウォッチの全体概要についての説明があり、

次いで、主要テーマごとに各執筆者から概要説明が行われました。第2部では「変革請負人グリーン連合への期待:パリ協定の意味するもの」と題して、(公財)地球環境戦略研究機関・西岡秀三氏から、対策が迫られている気候変動の現状や、グリーン連合への期待などが述べられました。そして第3部では、「地域の取り組みとこれからのグリーン連合」として、「森の生活」(北海道)代表理事麻生翼さん、「おかやまエネルギーの未来を考える会」(岡山県)会長廣本悦子さんから活動紹介。

そして、杵本共同代表の司会で、グリーン連合のこれからについて、会場から意見を伺いました。「政策立案力強化のために自治体のキーパーソンを増やすべき」「NPO間でも手段の違いを乗り越えていくことが大切」「市民版環境白書がこんなに早くできたことに感動」「総花的な団体が連合して一緒にやることは大変なことだが継続してほしい」「マスコミも様々なしがらみから伝えられないことも伝えてほしい」など、グリーン連合への期待をひしひしと感じたひと時でした。(藤村)



シンポジウムには100名が参加しました。

環境相 & 環境再生保全機構を表敬 幹事会が合宿で運営を議論



●山本環境相を表敬訪問

8月18日、山本公一環境大臣を幹事会で表敬訪問しました（環境省大臣官房深見正仁審議官、地球環境局総務課角倉一郎課長、同課低炭素社会推進室名倉良雄室長らが同席）。

今年5月に発行した市民版環境白書「グリーンウォッチ」を渡すとともに、環境政策の審議にあたっては、その分野で活動する環境NGOや市民団体の参加の枠を設けて進めて欲しいとの意見書「環境政策の形成と実施には、公平・公正で実質的な市民参加を！！」も提出しました。

短時間ながら懇談も行われ、山本大臣はフロン問題解決に取り組んだ

実績を持つことから環境政策前進のためのエールを送りました。山本大臣からも「少しずつであっても前に進めたい」という意欲的なお言葉をいただきました。

また、同日には独立行政法人環境再生保全機構を幹事会で訪問し、福井光彦理事長、佐野郁夫理事、地球環境基金の山口富夫部長、本城宏行課長、國松志帆係長、小川いづみさんと意見交換を行いました。

使い勝手の良い助成金にするにはどうするか、プロジェクトベースの基金でNPO運営の支援をどうするか、国への働きかけを一緒にできないか、などについて意見交換を行い出ました。今後も継続して行うことでも合意しました。

参加した幹事は、藤村、中下、杵本、古瀬、桃井、篠原、松原、山田でした。（山田）

●幹事会で合宿、運営を議論

7月29日から30日にかけて、グリーン連合幹事会の合宿を行いました。一日目は午前10時から午後5時まで、二日目は午前9時から12時までみっちりと議論しました。グリーン連合の方向性や団体会員に対するサービス、会員拡大に向けたアイデア、資金源と事務局体制、事務局業務の軽減化や資金獲得の方法、地域交流会の企画共有、次回グリーンウォッチの編集体制や内容、グリーン連合としての声明発表の場合の

ルールづくり、環境省／国会議員／メディア／他団体との意見交換会や連携のあり方などなどです。

活動の方向性については、今年、北海道、仙台、富山、滋賀、岡山にて地域セミナーを企画し、地域団体との交流を活発にしていって上でのグリーン連合の活動を活発化させていくことになっていますので、日本の環境団体の底上げと環境政策の前進に向けて、地域活動と政策提言活動を融合させていくことにも力を入れていく予定です。

また、資金面では地球環境基金の助成を受けることができたとはいえ、経常経費の予算がないため事務局体制はまだまだ脆弱です。今後の会員拡大や寄附集めなども充実させる必要があります。

この合宿を経て、まず幹事の間での今後の活動に向けた方向性を共有し、他の会員団体とも連携しながら活動を進めていくことを確認しました。幹事会からの発信もできるだけ頻度高めていきたいと思いますので、ぜひ会員の皆様にも積極的に関わっていただけたらと思います。（桃井）

会員団体募集中！

グリーン連合では、会員団体および個人サポーター（年会費1口2,000円以上、年間予算規模に応じて設定）を募集中です。たくさんの仲間が加わることで、メリットは大きくなります。ぜひご参加ください。

団体名、代表者名、ホームページ、住所、電話番号、FAX番号、担当者名、担当者役職、メールアドレス、直近の財政規模をお書きの上、事務局までFAXまたはメールでお送りください。※事務局メールアドレス変わりました

●グリーン連合事務局

FAX:03-3255-2202 E-mail contact@greenrengo.jp



市民版環境白書「グリーンウォッチ」は当連合ホームページからダウンロードできます。